

平成26年9月第9回教育委員会定例会

【日 時】平成26年9月26日（金）午後1時30分～午後5時20分

【場 所】北栄町役場大栄庁舎 第4会議室

【出席者】福光純一委員長・河本恒夫委員長職務代理者・磯江典子委員・光村哉智代委員・岩垣教育長・西村教育総務課長・杉本生涯学習課長・岩田指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課室長

【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 河本委員、光村委員を指名

2 行政報告

教育長

- ・9月24日金婚・米寿の祝詞について
※町長・副町長・教育長3班。町長100訪問。
- ・教育連絡会について
※ステップアップ会議。国語・数学部会話し合い。
- ・いじめ案件について
(委員) 部活動の検討は教育委員会か。
(教育長) まずは校長通しで検討をする。合同や指導者の対応などについて。子どものやりがいを尊重する手立てを話し合う。
(委員) 検討して方向性が出た時に対する教育委員会のかかわりは。
(教育長) 移動手段の課題が一つある。
(委員) 部活動をどうするかではなく実施していく方策を考えて行くということ。

教育総務課長

- ・第8回定例教育委員会の開催について
- ・中学校の外国語（英語）指導助手（ALT）について
- ・北条中学校・大栄中学校運動会について
- ・不審者情報について
- ・平成26年第5回北栄町議会定例会について
- ・9・10・11月の行事予定について

生涯学習課長

- ・歴史民俗資料館企画展「北條土人形～よう帰ってきてごしなつた～」について
- ・みんなの人形劇場（親子で楽しむはじめての舞台鑑賞会）について
- ・ウォーターメロン第3回公演（北栄町民ミュージカル劇団）について
- ・平成26年度町民運動会説明会について
- ・北栄町ソフトボール大会について
- ・隣保館運営審議会・児童館運営委員会について

- ・英語でおはなし会について
- ・第68回中部地区駅伝競走大会について
- ・北栄町秋季グラウンド・ゴルフ大会について
- ・今後の行事予定について
- ・(追加) 看板作成について

※町民会議で図案の募集→選定→平成27年度看板掲示

あいさつ運動のぼり旗、ベスト、看板を作成。コナン使用。大々的にアピール。

(委員) 大谷保育所の計画訪問は。

(事務局) 11月10日。

(委員) 土曜授業は4月運用に決定したか。

(教育長) 確認したのか。

(委員) 土曜授業に変わるものという意味。

(教育長) そうである。10月1日校長会を開催。PTA役員の意見も必要。北条、大栄で保護者説明する。

(委員長) 町民運動会の時に大栄中の部活動はあるのか。

(事務局) 調査する。

3 議 事

議案第31号 北栄町子どものための教育・保育給付の支給認定に関する基準(規則)の制定について

(委員) 保育の必要ない、ありで入所が違うのか。

(事務局) 認定書を交付する。

(委員) 保護者への説明は。かみ砕いて説明が必要。

(事務局) 11月20日、21日に説明する。

(委員) 書類の整理が必要。

(委員) 定員は。

(事務局) 調整が必要。希望聞き取りをする。

(委員) 48から60時間を町の基準とすることか。

(事務局) 国基準で定め、それを町村で決定する。

※原案のとおり承認。

4 協議事項

(1) 大栄中学校プール改築事業について

(委員) なぜプール改築が必要なのか、今なのか、まだなのか、補修でいいのかをまず議論する必要がある。それから、25メートルがいいのか、50メートルがいいのかの議論が上がってくる。

(事務局) 資料のとおりだが、プールの現状について、コンクリートプールの耐用年数30年は経過している。過去においては、費用対効果、改築

費用と中学校プール学習の使用頻度から補修しながら利用していた。今年の3月には漏水がありプール層から水がなくなった。この段階で改築は必要であると判断した。速やかな修理により今年度のプール学習は対応した。したがって、速やかな改築事業が必要という判断のもと今回補正予算で改築に向けた予算化を要求し議会の承認を得た。

(委員長) 事務局から説明があったが以前からの懸案となっていたものであった。また、議会からも大栄中プールについては一般質問もあった。

(事務局) 次に25メートルにするか、50メートルにするかであるが、以前の教育委員会で色々な案を検討した。小・中を統合してはどうか。25メートルでいいのではないか。50メートルを作ることはどうかなどを検討した。その結論として、各学校には教育施設としてプールは必要、安全面や町内の教育施設の均衡から各学校へプールを設置することが必要。また、大きさについては、大栄中学校プールの利用は学習面や部活動面から25メートルプールが適当であると判断した。前回の一般質問後、中部地区での整備を検討すると回答した。実際に中部地区定住自立圏構想での整備のテーブルに乗せたが、議論が遅く結論が早くても平成28年度になること、また、今回漏水があったために改築を早急に進める必要があったことから補正予算での対応とした。事務局で25メートルプールとしたことは、定住自立圏での整備は困難であること、中学校の学習での使用や部活動がないことからやはり費用対効果の面で25メートルが妥当であると判断したものである。

(委員) 50メートルは大会のためか。

(事務局) 議員の質問では子どもたちの夢を奪うのかとのこともあった。学校では、キャリア教育にも取り組んでおり、水泳だけではなく色々な面で夢と希望を目指して学ぶ環境があると思っている。現状でプールを50メートルにすることは理解されないと判断している。小学校での大会で使用しているが必ずしも公認プールでないといけないことはない。実際に県内の地区大会で25メートルプールを使用しているところもある。

(委員長) 資料や説明のとおり、前回議論した通り、やはり学校施設にプールは必要でその規模は25メートル。今回は漏水があり支障があったため、また耐用年数も来ているため速やかな改築が必要であると判断されるものである。

5 報告事項

- ・平成26年9月第5回北栄町議会定例会の一般質問等について
- ・「北栄町の子ども過ごし方」(仮称)今後の取り組みについて
- ・平成26年度全国学力・学習状況調査の結果について

- ・子ども・子育て支援新制度に伴う園長・所長説明会について
- ・第5回子ども・子育て支援会議について
- ・北栄町少子化対策強化事業委託について
- ・鳥取県青少年健全育成条例の一部改正について
- ・平成26年度教育委員県外先進事例視察研修について

5 その他

- ・次回教育委員会 定例会 10月28日(火)午後 1時30分から